
令和4年5月20日

報道機関 各位

件名 米海軍強襲揚陸艦トリポリ視察後の市長コメントについて

内容 本日（20日）、米海軍強襲揚陸艦トリポリが岩国基地に初寄港し、市長が視察を行いました。視察後の市長コメントについて、別紙のとおりお知らせします。

問い合わせ先 総合政策部基地政策課 TEL 0827-29-5024

市長コメント

本日、米海軍の強襲揚陸艦トリポリが岩国基地に初寄港したため、私自ら視察を行いました。

視察では、艦内を回りながら約 1 時間 30 分にわたり、艦長から直接説明を受け、私からも今回の寄港の目的などについて質問し、その中で、

- ・ 今回の寄港の目的は補給及び隊員の休養等であること、
- ・ 岩国基地での滞在期間は短期間であること、
- ・ 岩国基地への寄港に際しては、民間船等に対し、安全面に細心の注意を払ったこと、
- ・ トリポリ自体の乗員は約 1,100 人であるが、実際の運用にあたっては追加で 1,600 人の乗船が可能であること、
- ・ 主な運用については、F-35B を中心とした航空機の運用を行っていること、
- ・ 海外では初めての寄港であること、
- ・ 乗員全員が新型コロナワクチンのブースター接種を受けていることに加え、陰性であることも確認していること、
- ・ 乗員の休養を兼ねた外出を許可しているが、市内に出るときには、マスクの着用を徹底していること、
- ・ 外出時の乗員の荷物については、シェパード（犬）による検査を行い、不審物が無いかなどの確認を行っていること、

などを確認することができました。

今回の寄港の目的が補給及び隊員の休養等のためであり、滞在も短期間であることは、国からも情報提供がありましたが、視察をすることにより、艦内の状況や乗員の状況、更には新型コロナウイルスの感染対策等も確認することができたところです。

視察を終え、改めて、今回の寄港については、一時的なものであり、基地周辺住民への影響も少なく、特段大きな問題があるものではないと考えております。

しかしながら、昨年より米国艦船の寄港が相次いでおり、市民の方々から不安や懸念を示す声もあることも承知しています。

私としましては、今回の視察のように、機会があれば可能な限り現地に赴き、情報収集を行い、説明することで、市民の不安を払拭できるよう、引き続き取り組んでまいりたいと考えています。